

栃木県 航空宇宙分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

航空機製品を核とする航空宇宙産業領域

＜特定の理由＞

県内には大手重工のほか、航空機のエンジンや装備品、材料等に係るサプライヤーも立地するなど、国内有数の航空宇宙産業の集積がある。本計画の推進により、更なる地域経済の成長・発展が見込める。

2. 対象エリア

とちぎ航空宇宙産業振興協議会の顧問・幹事が立地する県内9市町

※宇都宮市、足利市、鹿沼市、小山市、真岡市、大田原市、さくら市、塩谷町、那須町



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- 航空宇宙関連企業には、コスト低減と高付加価値化の両立が求められている。
- 長期的な需要拡大予測を背景に、将来的な増産や新分野展開を見据えた持続的な成長基盤の構築が重要となっている。

（2）目指すべき目標

- ① 官民設備投資額
10年後までに1,500億円
- ② 付加価値額（2022年→2032年）
4,931億円 → 6,823億円
- ③ 産業人材育成数
10年後までに1,000人

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

- 高付加価値部品分野の受注拡大を図る。
- 工程DXによる高効率生産を図る。
- グリーン調達への適合を進める。
- 宇宙分野への展開を促進する。

（2）目指すべき姿

- 大手重工を中核に県内企業群が加工・検査等の各工程を担うことで、一貫生産体制の高度化を実現する。
- 自動化・デジタル化の推進による効率化とともに、グリーン調達への対応を進める。
- 宇宙分野への供給機能を強化する。

5. 政策手段

（1）投資促進に向けた課題

- 巨額投資・長期回収を要する産業構造であるため、参入障壁が高い。
- 中小企業・ベンチャーにおける資金・技術面（国際認証取得等）で制約がある。
- 国際競争激化に伴い、産業全体での競争力強化の必要がある。

（2）講じるべき政策パッケージ

- ネットワーク形成支援
- 情報発信
- 人材育成・確保支援
- 製品開発・技術開発支援
- 販路開拓支援
- 企業立地支援
- 経済安保への対応を契機とした産業成長支援
- 経営基盤強化・変革支援